

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年3月3日(2016.3.3)

【公開番号】特開2013-165981(P2013-165981A)

【公開日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2013-84891(P2013-84891)

【国際特許分類】

A 4 7 F 1/12 (2006.01)

【 F I 】

A 4 7 F 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

商品を支持する底板部を有し複数の前記商品が前後方向に一直列に搭載される搭載部と、前記搭載部に沿って前後移動するように設けられた押板と、前記押板を前方に付勢する付勢部材と、前記搭載部に対して移動可能に設けられ前記付勢部材により前方に付勢される前記押板により駆動される移動部と、を備えるマガジンであって、

前記移動部は、前記搭載部に対し揺動可能に設けられるとともに前記押板が前記搭載部の前端近傍の前進位置まで前進することに連動して揺動する屈曲した細長い揺動部材を含み、

前記揺動部材は、前後方向に長尺な形状であって、その長手方向の中間部にて前記底板部と平行な面内において屈曲した形状をなし、当該揺動部材の前端が前記底板部と水平な面内において揺動できるよう前記底板部に対して直交する揺動軸により前記底板部に軸支されており、且つ、前記搭載部に搭載されている前記商品の個数が所定数N（Nは自然数）以下になったことを表示報知する残数表示部が前端部に形成されており、

前記残数表示部は、前記押板が前記前進位置まで前進する際の前記揺動部材の前記揺動に連動して、前記マガジンの外部から視認可能な表示位置と、前記表示位置と異なる待避位置と、に遷移することを特徴とするマガジン。

【請求項2】

前記揺動部材の後端部が、前記押板の移動経路から遠ざかるように後端側に向けて傾斜した形状に形成されている請求項1に記載のマガジン。

【請求項3】

前記揺動部材は前記押板の移動経路の側方に配置されており、

前記揺動部材の屈曲部分は、前記移動経路の側の外角(A)が180度未満であり、前記移動経路と反対側の外角(B)が180度を越えることを特徴とする請求項1または2に記載のマガジン。

【請求項4】

前記揺動部材の前記屈曲部分が前記揺動軸により軸支されている請求項3に記載のマガジン。

【請求項5】

前記揺動部材は前記押板の移動経路の側方に配置されており、

前記揺動部材の屈曲部分は、前記移動経路の側の外角（A）が180度を越えることを特徴とする請求項1または2に記載のマガジン。

【請求項6】

前記揺動部材の前記屈曲部分よりも後方の部分が前記揺動軸により軸支されている請求項5に記載のマガジン。

【請求項7】

仮固定部を更に有し、

前記仮固定部は、前記搭載部の前記商品が前記所定数Nよりも多い状態のときに前記揺動部材を前記搭載部に対して仮固定する請求項1から6のいずれか一項に記載のマガジン。

【請求項8】

前記仮固定部は、前記残数表示部が前記待避位置に向かう方向に前記揺動部材を付勢する付勢部である請求項7に記載のマガジン。

【請求項9】

前記仮固定部は、前記残数表示部が前記待避位置に位置する前記揺動角度において前記揺動部材を前記搭載部に吸着保持させる吸着保持部であることを特徴とする請求項7に記載のマガジン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、商品を支持する底板部を有し複数の前記商品が前後方向に一列に搭載される搭載部と、前記搭載部に沿って前後移動するように設けられた押板と、前記押板を前方に付勢する付勢部材と、前記搭載部に対して移動可能に設けられ前記付勢部材により前方に付勢される前記押板により駆動される移動部と、を備えるマガジンであって、前記移動部は、前記搭載部に対し揺動可能に設けられるとともに前記押板が前記搭載部の前近傍の前進位置まで前進することに連動して揺動する屈曲した細長い揺動部材を含み、前記揺動部材は、前後方向に長尺な形状であって、その長手方向の中間部にて前記底板部と平行な面内において屈曲した形状をなし、当該揺動部材の前端が前記底板部と水平な面内において揺動できるよう前記底板部に対して直交する揺動軸により前記底板部に軸支されており、且つ、前記搭載部に搭載されている前記商品の個数が所定数N（Nは自然数）以下になったことを表示報知する残数表示部が前端部に形成されており、前記残数表示部は、前記押板が前記前進位置まで前進する際の前記揺動部材の前記揺動に連動して、前記マガジンの外部から視認可能な表示位置と、前記表示位置と異なる待避位置と、に遷移することを特徴とするマガジンが提供される。